先達に学ぶ　夏の夕べ

日本初の女医　楠本イネに思いを馳せる

日時：2018 年 8 月 25 日（土）16：00～

場所：曹洞宗　晧臺寺（こうたいじ）
長崎市寺町 1 番 1 号
電話 095-823-7211（代）

主催：ながさき女性医師の会

協力：長崎大学病院
メディカル・ワークライフバランスセンター

日本人初の女性医師は、1827 年（191 年前）に長崎に生まれた楠本イネです。オランダ商館医シーボルトの娘は、実父の依頼で門下の高良斎、二宮敬作、石井宗謙らに育てられ、長崎養生所雇教師ポンペ、ボードインらに学んでいます。その技術を評価されて、上京後には、宮内省御用掛にも任命されました。
当時稀な混血児として差別をうけて育ち、医術開業試験が女性に開かれたときには、すでに 57 才で受験を断念するなど、苦難の人生…。

8 月 26 日の命日を前に、イネ女史のお墓参りをして、この長崎で医学をめざした彼女の声を聴いてみませんか。

日程
16：00　晧臺寺に集合
16：00　お話「楠本イネの生涯」　山本芳江さん
（長崎女性史研究会会員）
16：45　お墓参り
17：30　会食（場所未定）

多くの医師・医学生のみなさんのご参加をお待ちしています。

お問い合わせ
ながさき女性医師の会：黒﨑　TEL095-882-2125　FAX095-882-7288
メールアドレス：joi.net.nagasaki@gmail.com
参加申込〆切　8 月 18 日